

(様式1)

## 令和2年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立緑小学校
校長名	近藤 幸弘

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から (平均正答率は、別表参照)

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・学年教科ごとの状況を見ると、全ての観点で目標値、全国平均正答率を上回ることができ、良好な結果と言える。</li><li>・各教科を内容別で見ると、4教科とも「基礎」の正答率が高く、「活用」の正答率も向上してきている。基礎基本に加え、活用力も身に付いてきていると言える。</li><li>・各教科を観点別で見ると、4教科とも「関心・意欲・態度」の正答率が高く、学習意欲が高いと言える。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・各教科を観点別で見ると、国語「書く能力」で目標値は上回ったものの、目標値に近い学年も見られる。また、「活用」の正答率も向上したが、記述で答える問題では向上する余地がある。自分の思いや考えを表現する力をさらに高めていくことが課題である。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・「学級環境」の項目が、全般的に肯定値が高くなっている。その中の「学級の規範意識」からは、学級のきまりが守られ、学級が落ち着いた状況で児童が学習していることがうかがえる。また、「いじめのサイン」「対人ストレス」からは、互いに認め合う関係を築き、仲間の意見や考えを聞き入れる土台ができてきたことがうかがえる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「学級環境」以外の項目「自己認識」「社会性」「生活・学習習慣」は、肯定値が低くなった。コロナ感染対策の影響が大きいですが、その中でも前向きに学習に取り組む環境を整えていきたい。</li><li>・「社会性」の項目の「問題解決力」「思いを伝える力」に課題がある。自ら課題をもち、解決したり、自分の考えを分かりやすく伝えたりすることができるような授業改善が引き続き必要である。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・関わり合いに制限があるものの、問題解決学習を積み重ねることで、学習の仕方が身に付き、見通しをもって主体的に学習に取り組めるようになってきている。</li><li>・継続して学習の振り返りをすることで、知識を他の学習に生かしたり、新しい疑問を次の学習につなげたりする意識が高まっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・問題解決の学習の習得には、昨年同様、個人差がある。全体として深めていくためには、継続的な取組をしていかなければならない。</li><li>・学習の振り返りを大切に感じている児童が多くなっている反面、意識が高まらない児童もいる。学習習慣の意識を高めていく取組が必要である。</li></ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 学習習慣の定着、学習環境の整備

- ・学級の規範意識を継続的に高めていくためにも、生活の週目標などに、「みどりスタンダード」を取り入れながら、児童への正しい生活習慣や学習習慣の意識化を図る。また、家庭への啓発を行い、家庭学習の習慣化も図る。
- ・昨年整備した、e-ライブラリーを使った家庭学習を充実させる。課題に合った学習に主体的に取り組むことができるよう、家庭での繰り返しの学習に活用できるようにする。教員が取り組み状況を把握できるようにする。
- ・ICTの活用・ホワイトボードの活用・ノート指導を通して、見方・考え方を働かせる授業を意識して行う。児童一人一台のタブレットの活用に応じた授業を組み立てていく。

### (2) 言語活動による自己の考えの深化、発展

- ・自ら考え、自分の思いや考えを生かした課題に向かう学習活動を取り入れ、授業改善を進めさせる。
- ・場面に合った言語活動により、各自の思いや考えのよさを、共有したり深めたりできるようにする。
- ・振り返りの時間を設定し、知識の再構築を行う。また、児童の新たな疑問を次の学習につなげたり、他の学習に生かしたりできるような単元構成を工夫する。

### (3) 個や少人数に応じた指導の充実

- ・個の定着度に合わせた「振り返りシート」「東京ベーシックドリル」の活用を図る。
- ・放課後すみだ塾での少人数指導、学校支援指導員による個別指導。
- ・算数の習熟度別学習では、児童の実態に合わせた活用問題に取り組みさせる。e-ライブラリーを活用して、個の課題に応じた予習・復習ができるようにする。

## 3 「令和3年度 墨田区学習状況調査」における目標

- ・各教科、各観点で、目標値を上回るようにする。
- ・各教科の活用問題において、目標値を5ポイント以上、上回るようにする。
- ・記述式の問題において、今年度の平均正答率を上回るようにする。
- ・E・D層の割合について、本年度を超えないようにする。